

西東京市男女平等参画推進計画に関する市民意識・実態調査  
調査項目（案）の考え方について

※ ★は第 4 次計画指標

## 1 回答者の属性

前回番号	今回番号	項目名	考え方・変更点	国 ※1	都 ※2
問 1	問 1	性別	変更なし。	○	○
問 2	問 2	年齢	変更なし。	○	○
問 3	問 3	家族構成	◎「2 夫婦・パートナーのみ」に文言変更。 ◎「3 二世帯世帯（親と独身の子ども）」に文言変更。 ◎「4 二世帯世帯（親と子ども夫婦）」に文言変更。 ◎「5 三世帯世帯（親と子どもと孫）」に文言変更。 ◎選択肢の分類を見直し、「三世帯世帯（親と自分と子ども）」、「三世帯世帯（祖父母と親と自分）」を削除。		
問 12	問 4	職業	◎回答者の属性に関する設問のため移動。 ◎設問文を変更。（学生の働き方に関する説明を削除、2つ以上の仕事に就いている場合の説明を追加。） ◎「2 正社員、正規職員」に文言変更する。 ◎「3 契約社員・派遣・嘱託・パート・アルバイト」に文言変更。 ◎「企業経営者・役員」、「その他の職業〔具体的に〕」、「専業主婦・主夫」、「学生」、「その他の無職（年金生活の方等）」を追加。	○	○
問 4	問 5	配偶者・パートナーの有無	選択肢を変更。（2 択→4 択）	○	○
問 4-1	問 5-1	共働きの状況	前問の変更にあわせて回答者対象者を変更。		△
—	問 6	子どもの有無	子どもの有無による意識や実態の違いを把握する。	○	○
—	問 7	介護の有無	ダブルケアの実態を把握する。		
問 5	問 8	居住地域	変更なし。		

## 2 男女平等参画の意識について

前回番号	今回番号	項目名	考え方・変更点	国 ※1	都 ※2
問6	問9	★ 固定的性別役割分担意識についての考え	変更なし。		
問7	問10	★ 男女の地位の平等感	変更なし。	○	○

## 3 家庭生活について

前回番号	今回番号	項目名	考え方・変更点	国 ※1	都 ※2
問9	—	自分が行っている家事・育児・介護など	設問数削減のため削除。		
問10	問11	★ 家事・育児・介護などに携わっている時間（平日、休日）	変更なし。		
問11	—	男性が家事・育児・介護などを積極的にを行うために必要なこと	問13（ワーク・ライフ・バランスのために必要なもの）や問15（男性が育児休業を取得しやすくなるために必要なこと）と似た設問のため削除。	○	

## 4 仕事と生活の調和（ワーク・ライフ・バランス）について

前回番号	今回番号	項目名	考え方・変更点	国 ※1	都 ※2
—	問12	仕事、家庭生活、個人の生活の優先度（希望・現実）	市民の理想と現実のワーク・ライフ・バランスの実態と違いを把握する。	○	○
問20	問13	★ 仕事と生活の調和（ワーク・ライフ・バランス）の実現状況	設問位置を移動。		
問21	問14	仕事と生活の調和（ワーク・ライフ・バランス）のために必要なもの	◎設問位置を移動。 ◎選択肢8を一部変更。（職員→従業員）		△
問15	問15	★ 育児休業、介護休業の取得経験、取得意向	回答者の負担軽減のために選択式、マトリクス（表）形式に変更。		
問18	問16	男性が育児休業を取得しやすくするために必要なこと	変更なし。		

## 5 就労について

前回番号	今回番号	項目名	考え方・変更点	国 ※1	都 ※2
問 12-1	問 17	管理職への昇進意向	変更なし。		
—	問 17-1	管理職へ昇進したくない理由	管理職へ昇進したくない理由について、性別や年齢別等のクロス集計を行い、意識や属性ごとの違いを把握する。		
問 14	問 18	今後の就労意向	変更なし。		

## 6 女性活躍推進について

前回番号	今回番号	項目名	考え方・変更点	国 ※1	都 ※2
問 8	問 19	女性が仕事をすることについての考え	設問位置を移動。	○	○
問 16	問 20	一時期仕事をやめた女性が再就職を希望する際に役立つもの	設問文を一部変更。(仕事をやめた人→仕事をやめた女性)より再就職が難しい女性にフォーカスするために、女性と明記。		
問 17	問 21	女性が出産後も同じ職場で働き続けるために必要なこと	変更なし。		
問 31	問 22	政策や方針決定過程に女性の参画が少ない理由	設問位置を移動。		
問 19	—	「働き方改革」についての考え	「必要だと思う」に回答が集中されることが予想され、課題解決につながる設問に絞るため削除。		
問 19-1	—	「働き方改革」のために必要なこと	問 13 (ワーク・ライフ・バランスのために必要なもの) と内容が重複するため削除。		

## 7 コロナ下での行動変化について

前回番号	今回番号	項目名	考え方・変更点	国 ※1	都 ※2
—	問 23	コロナによる生活や行動の変化	新型コロナウイルス感染症の生活面や仕事面での影響を把握。		
問 13	問 24	経済状況	◎設問位置を移動。 ◎①新型コロナウイルス拡大前②現在のそれぞれの時点の経済状況を把握。②現在は前回から変更なし。		

## 8 地域・防災について

前回番号	今回番号	項目名	考え方・変更点	国 ※1	都 ※2
問 22①	問 25	地域活動への参加状況	◎選択肢数を変更。(14→8) ◎「趣味、スポーツ、習い事」に回答が集中することが予想されることや、個人の活動と区別するため、選択肢を見直し。		
問 22②	—	地域活動への参加意向	課題解決につながる設問に絞るため削除。(前回結果から「趣味、スポーツ、習い事」に集中することが予想される)		
—	問 25-1	地域活動に参加していない理由	参加できない要因を把握。		△
問 23	問 26	防災分野で多様な人々の視点を活かすために重要だと思うこと	◎設問文を一部変更。(男女平等の視点→多様な人々の視点) 男女に限らず、多様な人々の視点を活かすという表現に変更。 ◎選択肢「性別等さまざまな視点でのニーズを聞き取る」を追加。		

## 9 性の多様性について

前回番号	今回番号	項目名	考え方・変更点	国 ※1	都 ※2
—	問 27	性の多様性に関する言葉の認知度	LGBT には含まれないより多様な性を表す SOGI という言葉の認知向上のために、啓発も兼ねて追加。		
問 24	問 28	性的マイノリティへの取り組みについての考え方	変更なし。		
問 24-1	問 28-1	性的マイノリティの方が生活しやすくするために必要な対策	変更なし。		
問 25	問 29	自分の性的指向や性自認に悩んだ経験	変更なし。		

## 10 あらゆる暴力(DV、ハラスメント等)について

前回番号	今回番号	項目名	考え方・変更点	国 ※1	都 ※2
問 26	問 30	配偶者等からの暴力だと思うもの	変更なし。		△
問 27	問 31	配偶者等から暴力を受けた際の相談機関の認知度	変更なし。		○

前回番号	今回番号	項目名	考え方・変更点	国 ※1	都 ※2
問 28	問 32	配偶者等から暴力を受けた経験	変更なし。		
問 28-1	問 32-1	★ 配偶者等から暴力を受けた時の相談経験	変更なし。		
問 28-2	問 32-2	誰にも相談しなかった理由	変更なし。		
問 12-2	問 33	職場等でハラスメントを受けた経験	◎設問位置を移動。(職場に限らないハラスメント被害の実態を確認) ◎設問文、選択肢の文言を一部変更。 ◎男女平等参画に特に関係するハラスメントに絞るため選択肢「パワー・ハラスメント」を削除。 ◎選択肢にハラスメントの種類を追加。(モラルハラスメント)		

## 11 男女平等参画を進めるために必要な施策について

前回番号	今回番号	項目名	考え方・変更点	国 ※1	都 ※2
問 29	問 34	★ 西東京市の取り組み、男女平等に関する法律等の認知度	(6) 配偶者暴力防止法に「(DV防止法)」を追加。	△	
—	問 35	男女平等参画を推進するために学校教育で力を入れること	学校教育で求められている取組を把握。		
問 30	問 36	市の審議会と市議会における女性の割合への考え	変更なし。		
問 32	—	男女平等推進条例制定についての意向	設問数削減のため削除。		
問 33	問 37	西東京市が特に力を入れていくべき男女平等参画施策	変更なし。		
問 34	問 38	自由回答	変更なし。		

※1 国：「男女共同参画社会に関する世論調査」（令和元年度 内閣府）

※2 都：「男女平等参画に関する世論調査」（令和2年度 東京都）